



Google タグマネージャーを使用した Javascriptタグの設定方法

本仕様書では、Google タグマネージャーを用いたアクセストレードの**Javascriptタグ**の設定方法をご案内致します。

設定頂くタグの詳細については、[Javascriptタグ導入仕様書](#)でご案内しておりますので併せてご確認ください。

※注意事項

Google タグマネージャーを使用する為の準備・設置が完了している事を前提と致します。

また、本仕様書の内容については一例であり、実際の設定は広告主様のサイト環境により異なる場合がございます。

実際の設定については、広告主様のサイトの仕様に沿った設定をご確認の上、ご対応頂けると幸いです。

Google タグマネージャー側の仕様や設定方法に関しては、Google社の[公式ヘルプ](#)をご参照頂けますようお願いいたします。

※本ページの内容は2023年11月時点のものです。

今後Googleタグマネージャーの仕様変更により、設定手順が変更となる可能性もございますので、予めご了承下さい。

設定手順

1. LPタグの設定
2. 変数の設定
3. CVタグトリガーの設定
4. CVタグの設定
5. データレイヤーに変数を受け渡す設定
6. GTMのプレビューモードにてタグの出力テストを実施
7. バージョンの作成と公開
8. 成果テストの実施

1. LPタグの設定

①新規作成

メニュー「タグ」から「新規」ボタンを押します。

②タグの設定

- ・タグの種類：「**カスタムHTML**」を選択します。
- ・HTML：アクセストレードの**LPタグ**を設定します。

▼LPタグ

```
<script src="https://h.accesstrade.net/js/nct/lp.min.js"></script>
```

③トリガーの設定

- ・トリガーの種類：「**ページビュー**」を推奨しております。
- ・このトリガーの発生場所：「**すべてのページビュー**」を選択します。

※トリガーの種類は広告主様のサイト仕様に沿って、任意の項目を選択下さい。
トリガーの詳細は[公式ヘルプ](#)をご参照下さい。

▼設定例

タグの設定

タグの種類

<> カスタム HTML
カスタム HTML タグ

HTML ⓘ

```
1 <script src="https://h.accesstrade.net/js/nct/lp.min.js"></script>
```

トリガー

配信トリガー +

All Pages
ページビュー

例外を追加

2. 変数の設定

以下はアクセストレードのトラッキングに使用する変数の一覧です。
発行されたタグに合わせて、それぞれ変数をご設定ください。

変数名	定額	定率	商品個別	説明	注意事項
verify	必須	必須	必須	注文番号などの1購入毎にユニーク値	個人情報では無い、1登録毎または1ユーザ毎のユニーク値をご設定ください。
value		必須		送料と消費税を除いた小計	3桁カンマを含まない半角数値をご設定ください。
vi			必須	商品IDと商品数量と商品単価をドットを区切りとした文字列	(例)100円の商品A(商品ID:aaa)を1個と、2,000円の商品B(商品ID:bbb)を2個購入した場合は以下のようにご設定ください。 "vi" : ["aaa.1.100","bbb.2.2000"]

2. 変数の設定

①新規作成

メニュー「変数」からユーザー定義変数の「新規」ボタンを押します。

②変数のタイプ

「データレイヤーの変数」を選択します。

③データレイヤーの変数名

[P5](#)の通り必要な変数名を設定します。

④変数のタイトル

「データレイヤーの変数名」と同じ内容を設定します。

※画像は変数名を「verify」とした場合の設定例です。

※データレイヤーの変数を使用する場合は、本ページのGoogleタグマネージャーでの設定の他に、サンクスページでのデータレイヤーの設定が必要です。(参照：[P12](#))

▼設定例(verifyの場合)

The screenshot shows a web browser window with a tab titled 'verify'. A blue '保存' (Save) button is in the top right. The main content is a '変数の設定' (Variable Settings) dialog box. It contains the following elements:

- 変数のタイプ** (Variable Type): A dropdown menu set to 'データレイヤーの変数' (Data Layer Variable), indicated by a circled '2'.
- データレイヤーの変数名** (Data Layer Variable Name): A text input field containing 'verify', indicated by a circled '3'.
- データレイヤーのバージョン** (Data Layer Version): A dropdown menu set to 'バージョン2' (Version 2).
- デフォルト値を設定 (Set default value)
- 値の形式** (Value Format): A link to expand options.

3. CVタグトリガーの設定

①新規作成

メニュー「トリガー」から「新規」ボタンを押します。

②トリガーの設定

- ・トリガーの種類：「ページビュー」を推奨しております。
- ・このトリガーの発生場所：「一部のページビュー」を選択します。
- ・右記画像を参考に**サンクスページのURL**を設定します。

※トリガーの種類は広告主様のサイト仕様に沿って、任意の項目をご選択下さい。
トリガーの詳細は[公式ヘルプ](#)をご参照下さい。

▼設定例

トリガーの設定

トリガーのタイプ

ページビュー

このトリガーの発生場所

すべてのページビュー 一部のページビュー

イベント発生時にこれらすべての条件が true の場合にこのトリガーを配信します

Page URL 先頭が一致 http://merchant-site.com/thanks

4. CVタグの設定

①新規作成

メニュー「タグ」から「新規」ボタンを押します。

②タグの設定

- ・タグの種類：「**カスタムHTML**」を選択します。
- ・HTML：アクセストレードの**CVタグ**を設定します。

※【マーチャント名】、【成果対象ID】はアクセストレードから発行されたものをご設定ください。

※仕様書通りに変数を設定する場合は、以下の様に変数を{{}}で囲ってください。

(例)"verify" : {{verify}},

③トリガーの設定

P7で設定したCVタグトリガーを選択します。

▼設定例

CVタグの設定画面のスクリーンショット。画面には「タグの種類」が「カスタム HTML」に設定されている。HTMLコードには、以下のようなスクリプトが記述されている。このスクリプトは、マーチャント名と成果対象ID（それぞれ②でマーク）をトラッキングイベントに追加し、CVタグのページビュー（③でマーク）をトリガーとして実行される。

```
1 <script>
2 var __atw = __atw || [];
3 __atw.push({
4   "merchant": "【マーチャント名】", "param": ②
5   "result_id": "【成果対象ID】",
6   "verify": {{verify}}
7 });
8 (function(a) {var b=a.createElement("script");b.src="https://h.aocestrade.net/js/not/cv_min.js";b.async=1;
9 a=a.getElementsByTagName("script")[0];a.parentNode.insertBefore(b,a)})(document);
10 </script>
11
```

トリガー設定では、「CVタグ ページビュー」が選択されている（③）。

4. CVタグの設定 - 定額報酬用CVタグ

▼定額報酬用CVタグ

```
<script>
var __atw = __atw || [];
__atw.push({
  "merchant" : " 【マーチャント名】 ", "param" : {
  "result_id" : " 【成果対象ID】 ",
  "verify" : {{verify}}
  });
(function(a){var
b=a.createElement("script");b.src="https://h.accesstrade.net/js/nct/cv.min.js";b.async=!0;
a=a.getElementsByTagName("script")[0];a.parentNode.insertBefore(b,a)})(document);
</script>
```

※ 【マーチャント名】、【成果対象ID】 はアクセストレードから発行されたものをご設定ください。

※上記はデータレイヤーで変数を設定する際の例です。

4. CVタグの設定 - 定率報酬用CVタグ

▼定率報酬用CVタグ

```
<script>
var __atw = __atw || [];
__atw.push({
  "merchant" : " 【マーチャント名】 ", "param" : {
  "result_id" : " 【成果対象ID】 ",
  "verify" : {{verify}},
  "value" : {{value}}
  });
(function(a){var
b=a.createElement("script");b.src="https://h.accesstrade.net/js/nct/cv.min.js";b.async=!0;
a=a.getElementsByTagName("script")[0];a.parentNode.insertBefore(b,a)})(document);
</script>
```

※ 【マーチャント名】、【成果対象ID】 はアクセストレードから発行されたものをご設定ください。
※上記はデータレイヤーで変数を設定する際の例です。

4. CVタグの設定-商品個別報酬用CVタグ

▼商品個別報酬用CVタグ

```
<script>
var __atw = __atw || [];
__atw.push({
  "merchant" : " 【マーチャント名】 ", "param" : {
  "result_id" : " 【成果対象ID】 ",
  "verify" : {{verify}},
  "vi" : {{vi}}
  });
(function(a){var
b=a.createElement("script");b.src="https://h.accesstrade.net/js/nct/cv.min.js";b.async=!0;
a=a.getElementsByTagName("script")[0];a.parentNode.insertBefore(b,a)})(document);
</script>
```

※ 【マーチャント名】、【成果対象ID】 はアクセストレードから発行されたものをご設定ください。
※上記はデータレイヤーで変数を設定する際の例です。

5. データレイヤーに変数を受け渡し設定

以下を**Google タグマネージャーのスニペットコードの上**にご設定ください。

変数の設定例については[P13](#)をご参照ください。

※本設定はGoogleタグマネージャー内で行うものではなく、**サンクスページ上での設定が必要です。**

※設定する変数は、タグの種類に合わせてご変更ください。（参照：[P5](#)）

▼ 定額報酬の場合

```
<script>
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
dataLayer.push({
'verify': 'ここに識別子'
});
</script>
```

<!-- Google Tag Manager -->

▼ 定率報酬の場合

```
<script>
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
dataLayer.push({
'verify': 'ここに識別子',
'value': '売上金額'
});
</script>
```

<!-- Google Tag Manager -->

▼ 商品個別報酬の場合

```
<script>
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
dataLayer.push({
'verify': 'ここに識別子',
'vi': ["商品ID.商品数量.商品単価", "商品ID.商品数量.商品単価"]
});
</script>
```

<!-- Google Tag Manager -->

5. データレイヤーに変数を受け渡し設定

以下例の様に、登録したデータレイヤー変数にサンクスページでの該当の値を設定します。

※以下は一例です。実際の設定については、広告主様のサイトの仕様に沿ってご対応ください。

※Google タグマネージャーのスニペットコードの上にご設定ください。

▼ 定額報酬の場合の設定例

- ・ 注文番号：abcdefgの場合

```
<script>
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
dataLayer.push({
  'verify': 'abcdefg'
});
</script>
```

<!-- Google Tag Manager -->

▼ 定率報酬の場合の設定例

- ・ 注文番号：abcdefg
- ・ 売上金額(税別、送料別)：1,000円の場合

```
<script>
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
dataLayer.push({
  'verify': 'abcdefg',
  'value': '1000'
});
</script>
```

<!-- Google Tag Manager -->

▼ 商品個別報酬の場合の設定例

- ・ 注文番号：abcdefg
- ・ 100円の商品A(商品ID:aaa)を1個と
2,000円の商品B(商品ID:bbb)を2個購入

```
<script>
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
dataLayer.push({
  'verify': 'abcdefg',
  'vi': ["aaa.1.100", "bbb.2.2000"]
});
</script>
```

<!-- Google Tag Manager -->

6. GTMのプレビューモードにてタグの出カテストを実施

設定完了後、Googleタグマネージャーの「プレビューモード」をオンに設定して、実際の広告主様ページでテストを実施頂き、設定されたタグが配信されているかご確認をお願い致します。

※プレビューモードについては[公式ヘルプ](#)をご参照ください。

The image shows two screenshots of the Google Tag Manager (GTM) interface. The left screenshot displays the 'Tags Fired' section, where a 'CVタグ' (CV Tag) is highlighted with a dashed orange box. An orange callout box points to this tag with the text: '※Tags Firedに表示されたタグをクリックすると、タグ情報の詳細を確認することができます。' (Clicking on a tag displayed in Tags Fired allows you to check the details of the tag information.) The right screenshot shows the 'Tag Details' for the 'CVタグ', including its HTML code and firing triggers.

※Tags Firedに表示されたタグをクリックすると、タグ情報の詳細を確認することができます。

Container ID: GTM-P5ZPXBDL
Container Version: env-8

Tags Fired

Tag Name	Count
LPタグ	カスタム HTML - Fired 2 time(s)
CVタグ	カスタム HTML - Fired 1 time(s)

Tags Not Fired: None

Tag Details for CVタグ

Properties

Name	Value
Type	カスタム HTML
HTML	<pre><script>var __atw=__atw [];__atw.push({merchant:"interspace-test",p aram:{result_id:"100",verify:verify,value:value}});(function` + (a){var b=a.createElement("script");b.src="https://h.accesstrade.net` + /js/nct/cv.min.js";b.async=!0;a=a.getElementsByTagName("script")[0];` + a.parentNode.insertBefore(b,a)})(document);</script></pre>
document.write をサポートする	true

Messages Where This Tag Fired

- 9 Container Loaded

Firing Triggers

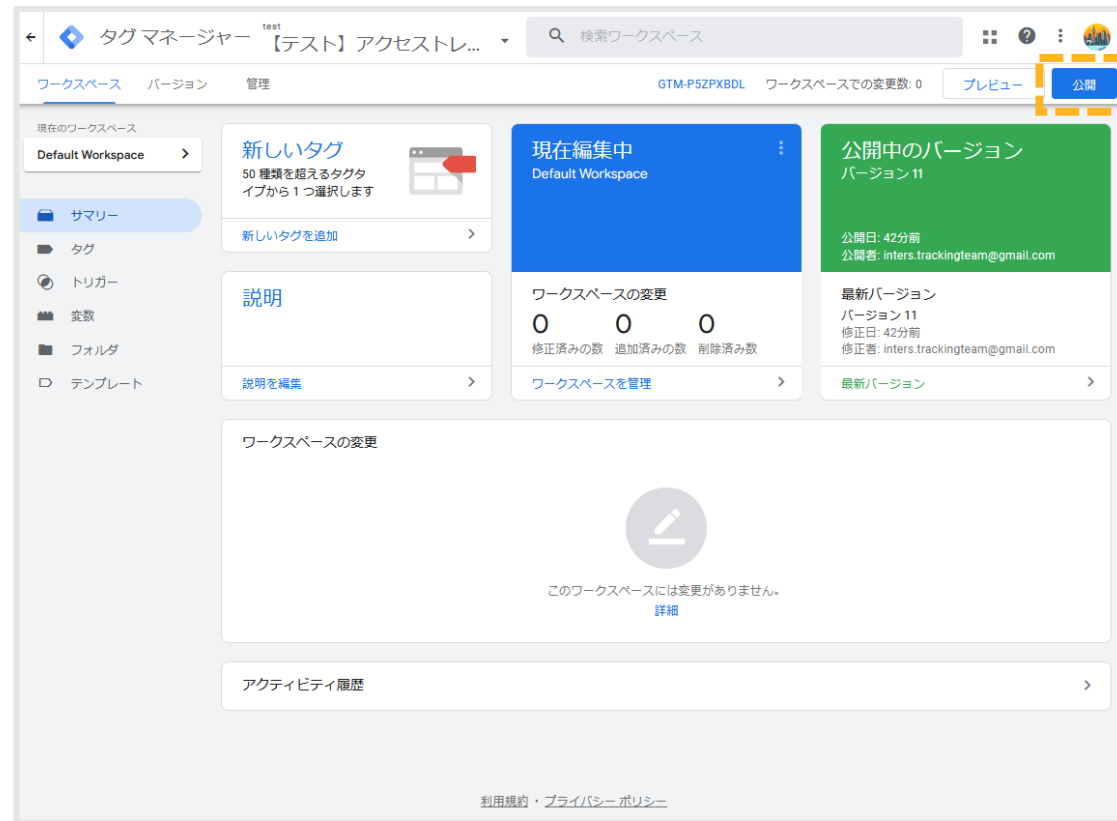
CVタグ用

Filters

- _event equals gtm.js
- Page URL contains http://client.com/thanks.html

7. バージョンの作成と公開

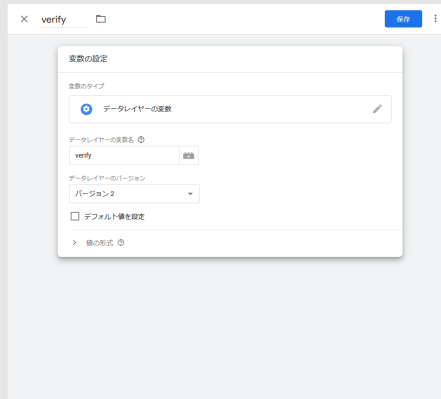
ページ右上の「公開」ボタンを押下し、最新のバージョンを公開します。



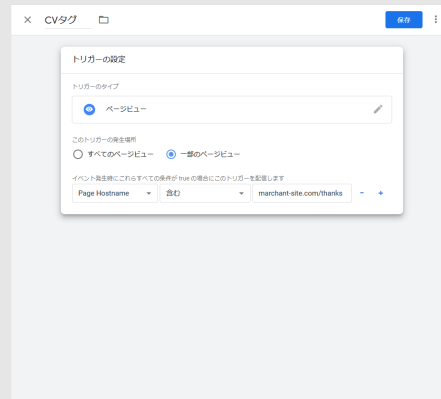
8. 成果テストの実施

成果テスト実施後、成果計測ができなかった場合、
原因確認のため以下キャプチャを担当者までご共有いただけますと幸いです。

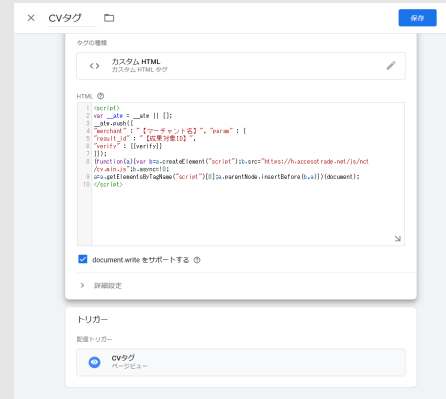
①変数設定部分
参照：[P6](#)



②トリガー設定部分
参照：[P7](#)



③タグ設定部分
参照：[P8](#)



④プレビューのTags Fired
参照：[P14](#)

